

「たった一つの命だから」

町田市立 全校児童に命の授業

命の重きに皆が思いを致した3月11日、町田市立小山中央小学校で朗読会「たった一つの命だから」が行われた。骨肉腫

16歳で菅佳さんは亡くなるが、この言葉にメッセージを届けようという動きが自然に起こり、2000年に社団法人「たった一つの命」が発足。こ



感動を呼んだ朗読会

「家でお子さんと話す機会にしてほしい」とあいさつ。1〜3年生と4、6年生に分かれ、道徳で命の授業を行った。

きていけない」とスタッフ。精いっぱい生きた菅佳さんの思いをつなぐと全国から寄せられた言葉を朗読。どれも家族への深い感謝と愛にあふれた「命と愛は同じもの」というメッセージだ。

「生んでくれてありがとう」と母親に感謝を表す感想は多く、スタッフには「とても大事なことを知りました」と感謝が

菅佳さんの父親の良秀氏は「今回で7千通を超えるメッセージが届くことになり、純粹無垢な心の叫びに私たちも刺激を受け、心が洗われるように感じる。自殺やいじめや幼児虐待などが深刻な社会問題となる中、命の尊さを声大にして訴える時ではないでしょうか。娘の残した言葉の意味をかみしめながら、支援してくれるスタッフと共に活動を広めていきたい」と話してくれた。